

令和5年度 廿日市市立平良小学校
教科担任制に係る取組の概要

祝 創立150周年記念
 廿日市市立平良小学校



目次



- 1 本校における取組の現状
- 2 取組の事例
- 3 児童アンケート結果
- 4 教員アンケート結果
- 5 教科担任制の取組における成果と課題
- 6 次年度に向けて

1 本校における取組の現状



令和5年度 教科担任制の実施学年について

第5学年（3クラス）、第6学年（3クラス） ※5年生は今年度より実施

令和5年度 教科担任制の実施教科について

専科教員・・・理科（教科担任制推進教員）、音楽
 学級担任間での交換・・・体育、社会、外国語・書写
 各担任授業時数（週当たり）・・・

（担当教科）	（担任する学級以外での週当たり授業時数）	（担任する学級の授業時数）	（授業時数の合計）
5－1担任（社会）	5.8	19	24.8
5－2担任（体育）	5.2	18.7	23.9
5－3担任（外国語・書写）	5	19.1	24.1
6－1担任（外国語・書写）	6	19	25
6－2担任（体育）	5.2	18.6	23.8
6－3担任（社会）	6	19	25

2 取組の事例 ①授業の質の向上



〈ICTを効果的に活用した授業の開発〉

ICT担当教員によるタブレット活用についての助言



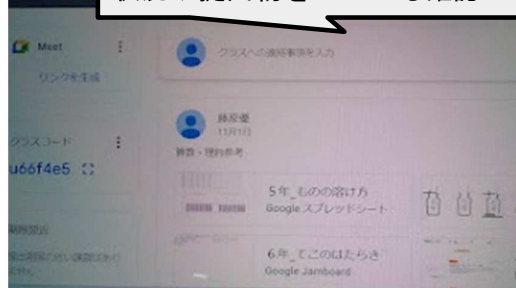
Googleclassroomでの授業交流

各教科で活用できる資料を共有できる。



他の教員の授業内容を見ることができる。

学級担任が、担当教科以外の児童の学習状況や提出物をいつでも確認できる。



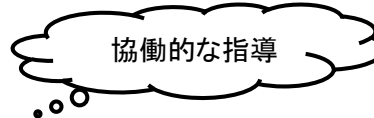
2 取組の事例 ②多面的な児童理解



〈トラブルの早期発見・早期対応，未然防止〉

以前は・・・

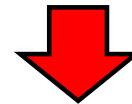
学級担任→学年主任→生徒指導主事



教科担当者→学級担任→学年主任→学年団→生徒指導主事



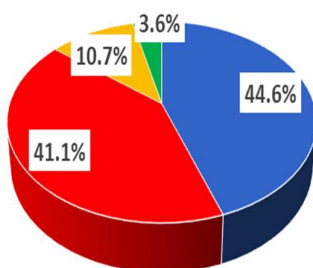
一つの事案に対して複数教員で対応



多面的な視点での指導が可能に！

3 児童アンケート結果

① 教科担任制になってよかったと思いますか。



■ とても当てはまる ■ まあまあ当てはまる
■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない

肯定的評価：85.7%
否定的評価：14.3%

【肯定的回答】

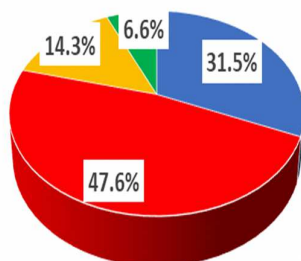
- ・ 色々な先生と話す機会が増えた。
- ・ その教科が得意な人がやるから分かりやすい。
- ・ 中学校に向けての練習になる。
- ・ 先生によって授業のやり方が違うから楽しい。
- ・ いろいろな経験ができる。
- ・ いろいろな先生の授業を受けていると，来年担任が変わっても戸惑わずに授業を受けられそう。

【否定的回答】

- ・ 分かりやすい授業と分かりにくい授業で偏りがある。
- ・ 分からないところが聞きにくい。
- ・ 分からなくても進んでしまう。
- ・ 先生によってルールが違うからやりにくい。
- ・ 提出物の把握が難しい。

3 児童アンケート結果

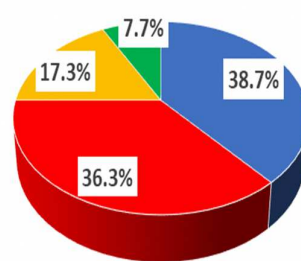
② 教科担任制で学ぶことで、
授業内容がよく分かるようになりました。



■ とても当てはまる ■ まあまあ当てはまる
■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない

肯定的評価 : 79.1%
否定的評価 : 20.9%

③ 中学校での教科担任制の授業に対して、
不安がなくなりました。

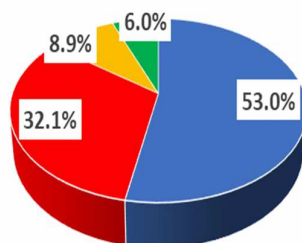


■ とても当てはまる ■ まあまあ当てはまる
■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない

肯定的評価 : 75.0%
否定的評価 : 25.0%

3 児童アンケート結果

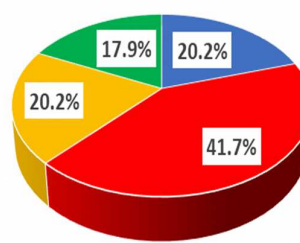
④ 教科担任制が取り入れられたことで、
いろいろな先生と話す機会が増えたと思えます。



■ とても当てはまる ■ まあまあ当てはまる
■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない

肯定的評価 : 85.1%
否定的評価 : 14.9%

⑤ 悩みを相談できる先生が増えました。

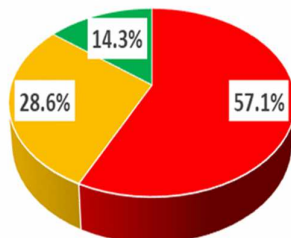


■ とても当てはまる ■ まあまあ当てはまる
■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない

肯定的評価 : 61.9%
否定的評価 : 38.1%

4 教員アンケート結果

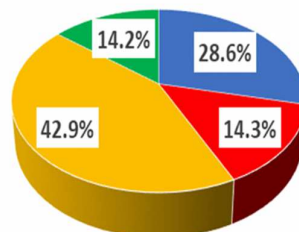
① 教材研究の深化や教材の工夫等による授業改善につながっています。



■ とても当てはまる ■ まあまあ当てはまる
■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない

肯定的評価 : 57.1%
否定的評価 : 42.9%

② 専門性を生かした学習指導の充実に
つながっています。

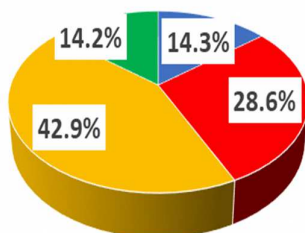


■ とても当てはまる ■ まあまあ当てはまる
■ あまり当てはならない ■ 当てはまらない

肯定的評価 : 42.9%
否定的評価 : 57.2%

4 教員アンケート結果

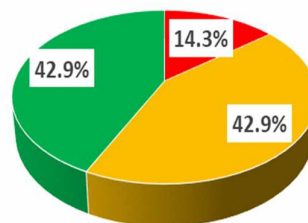
③ 中学校へのつながりを意識した授業を行っている。



■ とても当てはまる ■ まあまあ当てはまる
■ あまり当てはならない ■ 当てはまらない

肯定的評価 : 42.9%
否定的評価 : 57.2%

④ 指導教科数の減少による教材研究の時間の確保等の業務改善につながっている。

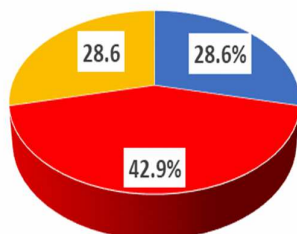


■ とても当てはまる ■ まあまあ当てはまる
■ あまり当てはならない ■ 当てはまらない

肯定的評価 : 14.3%
否定的評価 : 85.8%

4 教員アンケート結果

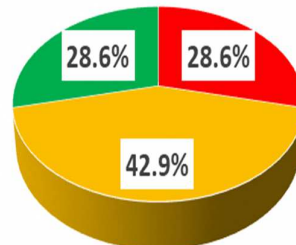
- ⑤ 担当する学級の児童について，日常的に
高学年の教員と情報共有ができています。



■ とても当てはまる ■ まあまあ当てはまる
■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない

肯定的評価：71.5%
否定的評価：28.6%

- ⑥ 教科や指導方法など，教職員間の意見交換の
機会が増加している。

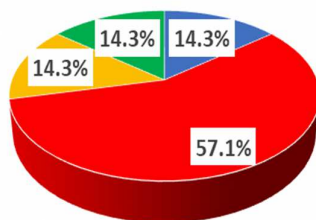


■ とても当てはまる ■ まあまあ当てはまる
■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない

肯定的評価：28.6%
否定的評価：71.5%

4 教員アンケート結果

- ⑦ 担当する学級の児童に対して，
組織的な生徒指導ができています。



■ とても当てはまる ■ まあまあ当てはまる
■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない

肯定的評価：71.4%
否定的評価：28.6%

5 教科担任制の取組における成果と課題

成果

〈児童アンケートより〉

- 教科担任制に肯定的な評価をしている。
- 色々な先生の授業を受けることを楽しい、よく分かると感じている。
- いろいろな先生と関わる機会が増えたと感じている。
- 悩みを相談できる先生が増えたという児童も多くいる。
- 中一ギャップの未然防止につながる。

〈教員アンケートより〉

- 多くの教員が児童に関わるので、多面的な児童理解やトラブルの未然防止につながると感じている。
- 学年の学級数だけ繰り返し授業が行われ、授業改善を図ることができる。

5 教科担任制の取組における成果と課題

課題

〈児童アンケートより〉

- 教員によって授業の質やルールに差や違いがあることに不満を感じている。

〈教員アンケートより〉

- 担任によって指導法やルールが異なるので、ノートのまとめ方やタブレットの使用ルール等、難しさを感じている。
- 時間割調整、時数調整に時間がかかり、業務の負担が増加している。
- 教材研究に十分に時間を当てることが難しい。
- 得意な教科や専門教科を担当できない場合、専門性を生かすことができない。
- 経験年数の少ない教職員は、担当教科以外の授業をすることがないので、今後担当以外の教科を行うことができるか不安になる面もある。
- 担当児童が増えることにより、個々の特性や能力を把握することに負担を感じる。

5 教科担任制の取組における成果と課題

課題

〈課題に対する今後の取組〉

- お互いに授業参観を行うことや指導方法について交流し、自身の授業スタイルの見直しや協議を通して、新たな授業スタイルを設定する。

（例）ノートのまとめ方やタブレットの使用ルールを揃える。

- 教職員で情報共有を行い、個別の児童やクラス実態に合わせた授業を行う。
- 担当授業時数の軽減（6年生）を図る。

（例）家庭科専科の担当者の設定をする等

- 各学級の児童の様子など密に連携を取り、児童の実態把握に努めていく。

6 次年度に向けて

- 教科担任制を行うための人員の確保や、業務の軽減や実態を踏まえた導入を検討する必要がある。
- 教科横断的な学びとなる授業作りのために、教科間の連携をさらに図る。
- 行事等のイレギュラーな時間割となった際の調整の仕方を整理する。

（各担当教科の持ち時数が揃わない場合等）

